



【大湊—野辺地西】1回裏、野辺地西1死二、三塁、塩倉が左中間に放った適時二塁打で2—0とリード

野辺西 猛攻18安打

大湊 好機に走者生かせず

にも救援のマウンドに上がった左腕塩倉は6回無失点と気を吐いた。

大湊は初回、一、二塁奪い、なおも一、三塁と

の好機に併殺で倒れ、流れをつかめなかったのが痛かった。九回に1点を奪い、なおも一、三塁と

走者をためたが、後が続かなかった。

塩倉 投打で奮闘

投打でアピール、好結果に笑みが浮かんだ。

○…野辺地西の主戦塩倉が粘り強い投球を披露した。五回まで毎回走者を許すものの要所を締め無失点。最終回に味方がピンチを招いたところで再びマウンドに上がり、反撃を封じた。「内角を思い切り突けた。変化球の切れもよかった」。バットでも2安打2打点と

次は東奥義塾戦。今年の春の大会で打ち込まれた苦い思いがよぎる。寺嶋監督が「失点をいかに抑えるかがポイント」と言うだけに、背番号1の踏ん張りに期待がかかる。塩倉は「力のあるボールをどんどん投げ込んでいく」と奮闘を誓った。

【評】野辺地西は初回

単打と犠打で二塁に走者を置くと、長短連続6安打で一挙4得点。二回以降も攻撃の手を緩めず、先発全員の18安打で突き放した。先発し、最終回

秋季
県高校野球

第1日